



5月 ボラドーレス

空から舞い降りる 鳥人たち



メキシコ湾に面したベラクルス州の
パパントラ。この地域の周辺に住むト
ナカ族は毎年5月、『ボラドーレス』
と呼ばれる「鳥人の儀式」を行う。

高さ30～35メートル近くあるボラ
ド。先端から伸びるロープに4人の舞
手が逆さまに結ばれ、てっぺんからゆ
っくりと円を描きながら降りてく
る。頂上に立つ男の笛と小太鼓の演
奏が始まるとき、ロープが回転とともに
伸びるという仕掛けだ。時間にして
約2分。見事に地面に舞い降りた者
には、「鳥人」の称号が与えられる。

古代メソアメリカ文明の時代、周辺
種族に継承されていた雨ごい行事が、
現在のトトナカ族に受け継がれた。
4人の舞手は東西南北の風を象徴
し、頂上の男は太陽神を仰ぎ五穀豊
穣を願う。それぞれが13回転して地
上に降りることにより、「52」という
数字が生まれる。これは、52年に一度
太陽が生まれ変わるとされるメソア
メリカ文明の信仰に基づいている。

現在ではトトナカ文化を伝えるこ
と、観光収入をもたらすことが目的
のこの儀式。世界遺産のエル・タヒン遺
跡、首都メキシコシティの国立人類學
博物館前など各地で定期的に行わ
れるようになった。2009年には、ユネスコの世界無形文化遺産とし
て登録されている。